

～特色ある教育プログラム～

(平成29年度よりスタート)

グローバル人材育成プログラム

地域創生人材育成プログラム

「地（知）の拠点大学」

なりたい自分に、なれる大学



富山国際大学

Toyama University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科

観光専攻／環境デザイン専攻／経営情報専攻

子ども育成学部 子ども育成学科

小学校教育分野／保育・幼児教育分野／社会福祉分野

グローバル人材育成プログラム

国際社会で活躍できる人材を育成

- 外国語コミュニケーション能力を有する人材
- 国際的に活動できる実践能力を有する人材
- 地域の国際化に貢献できる人材

海外留学や実践活動で外国語能力と実践力向上！

学部の専門分野に加えて、意欲ある学生が取り組むプログラム（副専攻）です。体系的な教育プログラムのもとで、次の3つの課題にチャレンジします。

- 外国語科目及び多文化共生科目を一定単位以上修得する。
【修了要件】成績評価指標 GPA が基準以上であること。
- 海外留学や海外体験、学内外活動などを通して、国際活動実践力を身につける。
【修了要件】6ヶ月以上の海外留学を行う。または、それに相当する国際交流実習、異文化研修、海外インターンシップ等を行う。
- 高い外国語能力を身につける。
【修了要件】TOEIC スコア 600 点以上 (TOEFL など、その他の技能検定も TOEIC レベルに準じる。)。730 点以上は「グレード S」を認定する。

(1) 外国語科目	(2) 海外留学（協定校）	(3) 外国語能力	プログラム修了証書授与	グローバル人材
TOEIC I・II Oral Communication 観光英語 ビジネス英語 観光中国語 外国語特講 I・II	 オレゴン州立ポートランド大学  レスブリッジ大学  サセックス・ダウンズ・カレッジ  ラ・トロープ大学、サザンクロス大学  欧亜ビジネスマネジメント学院  ウラジオストク経済サービス大学  大連海洋大学、南通大学、中国海洋大学、 哈爾濱理工大学榮成学院、鞍山師範学院  大邱大学校、聖公会大学校  ファー・イースタン大学	TOEIC 600 点以上 (730 点以上でグレード S) TOEFL 550 点以上 (CBT213 点、iBT79 点) 国連英検 B 級以上 英検準 1 級以上 中国語検定 5 級 (HSK 中国政府公認資格) 韓国語能力試験 TOPIK5 級 (大韓民国教育省主催) 上記以外の他言語も対象		
多文化共生科目	学外での実践的な学び			
Issues of Contemporary Society 国際協力・ボランティア論 とやま地域学 地域文化論 日本の動き 世界の動き 国際コミュニケーション論 国際関係論 世界の言語と文化 国際観光論 世界遺産論 民族・文化と観光 人間と宗教 子どもと国際交流	国際交流（ボランティア）実習 国際協力を実践的に学ぶプログラム。タイ山岳少数民族（ムラプリ）を対象として地域資源を活用した経済活性化支援を実施 など 異文化研修（数カ国で実施） 海外協定校や関係機関などの協力を得て、現地の学生たちと調査やイベント活動などを実施。28 年度はオーストラリア、韓国、カナダ、デンマークなどで実施 海外インターンシップ 海外企業での実務研修（中国・タイなど） 海外での様々な活動 学生企画異文化研修、企業企画スタディツアー など 地域のグローバル化貢献活動 外国人観光ボランティア、外国人おもてなしプロジェクト、留学生と地域の人々の交流イベント実施 など			
	英語強化プログラム			
	TUINS English Camp TOEIC クラウド型学習／TOEIC 試験対策集中講座 English Café／エクステンションカレッジ英会話講座			

プログラム修了証書の授与
国際的に活躍できる『グローバル人材』として本学が認定

地域創生人材育成プログラム

地（知）の拠点大学

地域社会の発展に貢献できる人材を育成

- 地域創生で活躍できるリーダーとなり得る人材
- 課題解決力と実践能力のある人材

地域課題を探究し、課題解決力を身につける！

学部の専門分野に加えて、意欲ある学生が取り組むプログラム（副専攻）です。
体系的な教育プログラムのもとで、次の3つの課題にチャレンジします。

- (1) 地域志向科目及び地域関連科目を一定単位以上修得する。
【修了要件】成績評価指標 GPA が基準以上であること。
- (2) 地域での積極的な実践活動を行い、地域活動実践力を養う。
地域でのボランティア活動、地域活性化のための活動等を行う。
【修了要件】活動をポイント化し、一定以上のポイントを獲得すること。
- (3) 地域課題解決のための調査研究活動（卒業研究等）を行い、課題解決力の向上を図る。
【修了要件】学外委員を含めた審査において、優れた成果として認められること。

(1)	(2)	(3)	プログラム修了証書授与	地域創生人材
課題解決型学習	正課外地域活動	地域解決型研究・調査活動		
地域づくり実習 地域課題探求講座（新設） インターンシップ 地域社会参加活動 子ども活動実践演習 富山に学ぶインターンシップ など	○助成金（夢の架け橋等）採択・実施 ○セミナー・学会発表 ○学外表彰（クラブ等以外） ○インターンシップ （卒業認定単位以外） ○ボランティア活動 （活動事例） 環境保全活動（森づくり） 放課後児童クラブ 地域イベント活動参加（アースデイ） 青少年自然の家 社会福祉協議会 ／ボランティアセンター 児童・障害・高齢者施設 学習支援 観察実験アシスタント 施設・地域の行事ボランティア など ○地域活性化活動 （一般／委員／責任者参加） （活動事例） 学生まちづくりコンペティション 道の駅活性化プロジェクト 大学生観光まちづくりコンテスト 限界集落支援活動 科学実験教室 自然体験ボランティア 異文化交流体験活動 まるごと体験教室 など	（活動事例） 限界集落活性化プロジェクト エコビレッジ構想（水力発電） 卒業論文研究事例 ・観光の視点から見た公園施設の在り方 ・観光振興に向けた「食」のアピール ・八尾町桐谷における小水力の可能性調査と年間発電力予測 ・地元地域の活性化～山田地域を事例として～ ・富山市荻浦地区における地域活性化の考察 ・コンビニエンスストアの購買行動～滑川市 CVS 上島店におけるおにぎりとの同時購買分析～ ・あいの風とやま鉄道のこれから ・イタイイタイ病再発防止への取り組みと課題 ・医療ソーシャルワーカーの抱える倫理的ジレンマに関する研究 ・介護保険制度における福祉用具貸与の現状と課題 ・学校教育におけるタブレットPCの導入に関する一考察 ・小学生が感じる疑問と興味に関する一考察 ・富山の「スクールカースト」 など		
地元学学習				
とやま地域学 地域社会論 地域文化論 富山県の文化・自然と観光 地域社会と観光 環境政策論 自然体験活動 富山の福祉／生活／保育／教育特別講義 相談援助実習 など				
情報技術向上学習				
ビジネス情報演習 情報システム論 情報ネットワーク論 人間と情報 プレゼンテーション 子どもと情報メディア など				
社会人基礎力学習				
キャリアデザイン講座 経営者講座 キャリア支援講座 キャリア入門講座 生活文化演習				

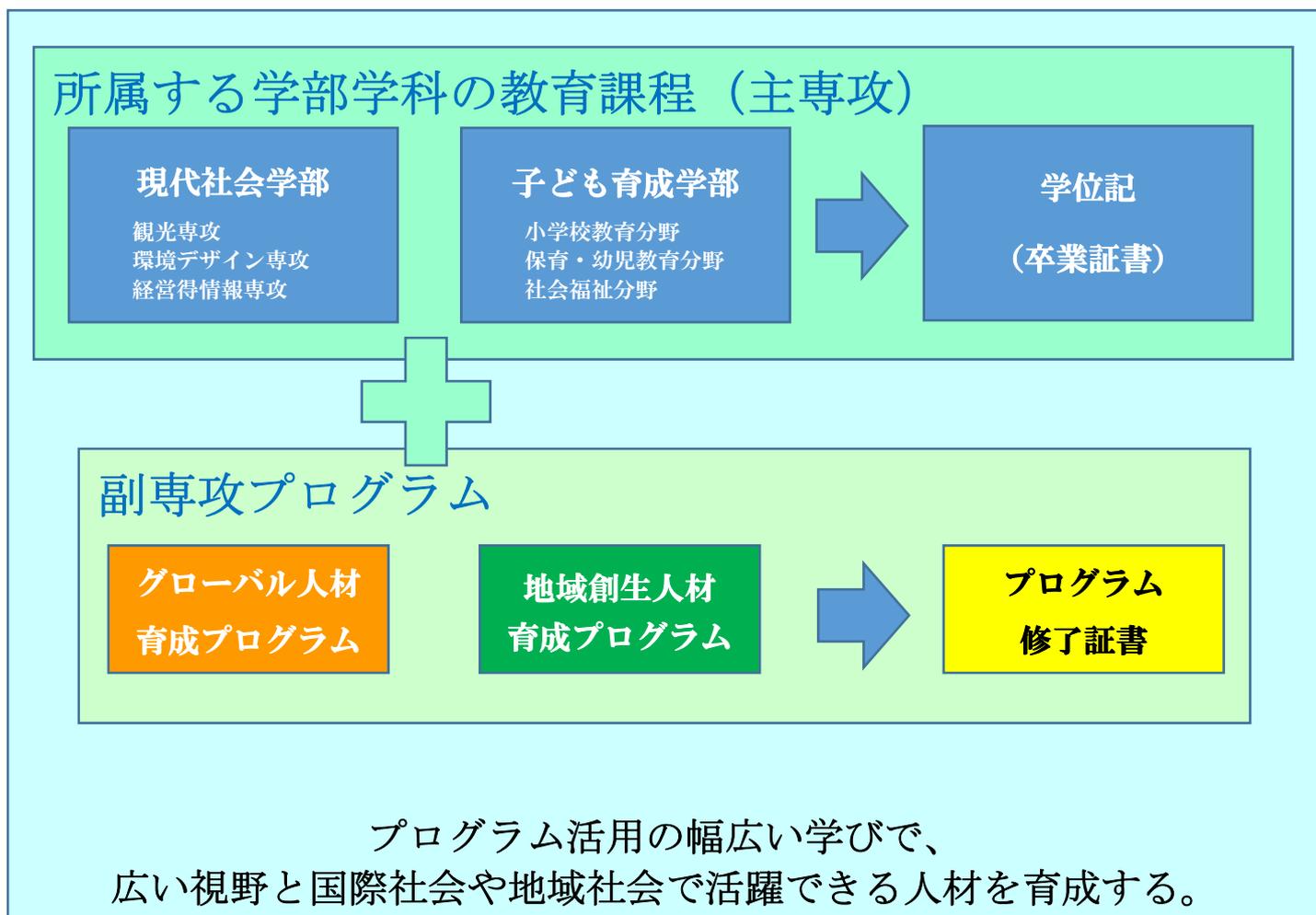
プログラム修了証書の授与

地域で活躍できる『地域創生推進士』として本学が認定

～ 特色ある教育プログラム（副専攻プログラム） ～

所属する学部学科の教育課程（主専攻）に沿って学習する科目の枠を越えて、特定の分野やテーマ、学際的な分野等について体系的にまとめられたプログラムを副専攻といいます。

副専攻プログラムを修了した学生には、所属学部での卒業が認められた場合、卒業時に学位記（卒業証書）と併せてプログラム修了証書が授与されます。



～ 平成 27 年度文部科学省「地（知）の拠点大学」認定校 ～

富山国際大学は、平成 27 年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地域創生推進事業」（COC+事業）において、「地（知）の拠点大学」に認定されました。

日本は少子化に伴う人口減時代を迎え、「東京一極集中」を是正し、「地方創生」が国の最重要課題となっています。

この一環として、COC+事業は地方大学の活性化と地元への就職率向上を図るために実施されるプロジェクトです。

「地（知）の拠点大学」は、富山県では本学と富山大学、富山県立大学の 3 大学、北陸 3 県の私立大学では本学と金沢工業大学の 2 大学が認定されています。